

Doc. No.: NR080325

2008年3月25日

## 世界初の輸送用簡易梱包技術を発明 ～はめ込み式構造により、梱包・開梱の作業時間を大幅に短縮～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：橋本 正博)は、グループを挙げた物流戦略に基づく輸送効率化の一環として、100%出資のグループ会社・株式会社トランザップ ジャパン(本社：京都市下京区／社長：大野木 繁男)が発明<sup>※1</sup>した、大型製品の梱包(荷造り)および開梱(荷ほどこ)作業を大幅に簡素化する世界初の輸送用簡易梱包技術を、このほど導入。2008年4月から運用を開始します。

今回トランザップ ジャパンが発明した技術では、強化ダンボールを効果的に使用した小さく軽量の部材を梱包サイズに応じて自在に組み合わせる、はめ込み式の構造を採用。木材や合板の組み立てによる従来の方法と同等の強度を維持しながらも、材料の加工、梱包・開梱にかかる作業時間を大幅に短縮できます。また、くぎやボルト(補材)を使用せず、専用工具も一切不要なため、作業者の熟練度に左右されることなく、大型機器の梱包・開梱における安全で迅速な作業を実現しています。このように、従来の概念を一新する今回の新たな技術は、作業の大幅な簡素化により自社製品の物流効率の向上を実現するとともに、開梱後の部材を元の梱包箱として再使用できるなど、物流に掛かるコストの抑制に大きく貢献します。

一方環境面でも、梱包部材の大部分に強化ダンボールを使用することにより、物流における木材や合板の使用量を最大約70%削減<sup>※2</sup>。さらに、部材の再利用によって廃棄物の発生を抑制するなど、資源のリサイクル率の向上にも役立つ技術となっています。

当社グループは今回の新たな梱包技術の実用化により、国内外における製品の物流効率を高め、顧客満足のより一層の向上を図るとともに、環境保全へのさらなる貢献に努めていきます。

※1 特許出願中。

※2 容積20m<sup>3</sup>の場合。従来の当社半導体製品における木材梱包との比較による。

### <株式会社トランザップ ジャパンの概要>

所在地：京都市下京区中堂寺坊城町12-2 大日本スクリーン五条ビル

設立：2002年2月22日

代表者：代表取締役社長 大野木 繁男

資本金：1,000万円

従業員数：39人

主な業務：保管、荷役、輸送、包装、情報管理など、大日本スクリーングループの総合物流業務

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目